

**みなみっこ集会 (校内人権集会) をしました****白水台地の陽光「さん」**

各学年で、教材を使って人権学習を行い、その学習を基に学んだことの発表を行いました。それぞれの学年で深く考えたことが伝わり、学習の積み重ねの大切さを感じました。また、発表後のお返しについても、低学年から高学年まで、自分の生活を振り返りながら積極的なお返しができました。今年度では2回目になりますが、だれもが安心して学校生活を送れるように、互いの思いや考えを聞き合うこと、相手に分かるように伝えること、学習してきたことと自分のくらしを重ねて考え、自分たちのくらしをより良くしていこうとする気持ちをもつことを目的に行いました。日頃の子どもたちの様子を見てみると、この集会が生かされている部分と、そうでない部分があることを感じます。しかし、この集会を通して、子どもたちの人権感覚が育っていることは確かです。2時間行いましたが、発表者、聴く側、どちらも素晴らしかったです。まとめの話では次のような話をしました。

【みんなが安心して過ごせる学校にするために】

校長室から、休み時間、運動場で子どもたちが遊んでいる様子をよく見るがあります。全員が仲良く遊んでいる姿を見るのが楽しみです。先日11月1日は、1～4年生が見学旅行の時、5年生がクラス全員で陣取りをしていました。運動場全部が貸し切りの状態で、とても楽しそうでした。11月7日(木)は、4年生、6年生が全員で陣取りやおにごっこを行っていました。担任の先生も参加していました。本当に楽しそうでした。

何でも安心して話したり、遊んだり、助けあったりする友達がいること、これが学校が楽しくなる一番の要因ではないかと思えます。いつも私は、全員が、「今日も一日楽しかった。勉強をがんばった。良い1日だった。」という気持ちで、帰ってくれることを願っています。でも、時々、不安に思うことや、困ることがあると思えます。その様な時に、人は、どのようにしたらもっと生活や関係が良くなるか考える力を持っています。困っている人のために役に立ちたいと考えることができる優しさを持っています。その考える力や優しさを身につけることが大切です。先日、町の小中学校の先生方が大勢来られ、2・5年生で人権学習の公開授業がありました。自分の生活を振り返りながら、真剣に考え、意見を堂々と言っていました。人権学習の大切さと、子どもたちの成長を感じました。参加された先生方が、子どもたちの頑張りをたくさん褒めてくださいました。

【いじめ防止対策推進法について】

ここ数年、いじめが原因で命をなくす人がいることは皆さんも知っていると思えます。それだけいじめ問題は深刻です。今から、6年前に、重大ないじめ問題があり、いじめ防止対策推進法という法律ができました。この法律で大事なことは、いじめとは、子どもが、ある子どもを、心理的(いやなことを言ったり、無視をしたりして人の心を傷つけること)、物理的(たたいたり、けったり、つねったり、人の体を傷つけること)な行為を与えるもので、被害を受けた人の心や体が傷つけられ、苦しんだりすることだと決められたことです。いじめの程度に関係なく、ちょっとしたことでも、いじめられた人が、いじめられたと感じたら「いじめ」とすることです。どんな小さなことでも、いじめと判断したら、学校の先生全部で、いじめられた人を守っていきます。命に関係するものは、町、県の教育委員会、警察とも連携し、いじめられた人を守っていきます。お願いしたいことは、いじめは見えないところでおこります。ちょっとしたふざけからいじめにつながります。いじめはしないこと、そしてもし何かあったらすぐに、先生や家族に伝えてください。



